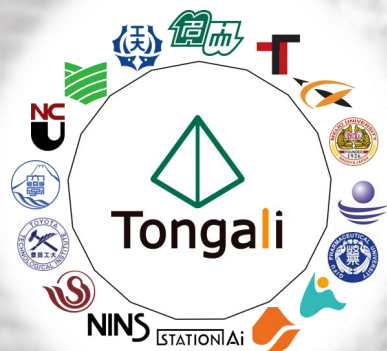


大学発新産業創出基金事業 スタートアップ・エコシステム共創プログラム R6年度GAPファンドプログラム『ステップ2』 説明会



主幹機関 : 名古屋大学

共同機関 : 豊橋技術科学大学、岐阜大学、三重大学、名城大学、藤田医科大学、
名古屋市立大学、静岡大学、浜松医科大学、豊田工業大学、岐阜薬科大学、
名古屋工業大学、静岡県立大学、静岡理工科大学、自然科学研究機構
STATION Ai株式会社

※Tongaliは
登録商標です

◆Tongali（プラットフォームの名称）は、令和6年1月、国立研究開発法人 科学技術振興機構（以下、JST）の大学発新産業創出基金事業 スタートアップ・エコシステム共創プログラムに採択

- 2030年3月末までの期間にわたり、JSTの助成を受けたGAPファンドプログラムを実施し、社会・経済に強いインパクトを生む研究開発型スタートアップの創出に取り組んでいく

Tongaliとは

東海地区の大学コンソーシアムによる 起業家育成プロジェクト

**Tongaliの対象：東海地区の大学・研究機関の学部生、大学院生、
ポストドクター、教職員**

Tongaliは、2015年度に東海地区の国立5大学（名古屋大学・豊橋技術科学大学・名古屋工業大学・岐阜大学・三重大学）で始めた、起業家育成プロジェクトであり、学部生・大学院生・教職員を対象に、次世代の起業家を育成・支援する多面的なプログラムを提供しています。

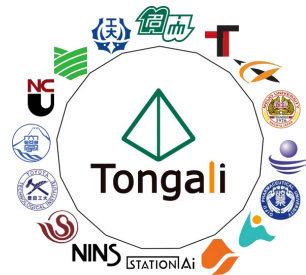
Tongaliの活動は、2017～2021年度には、文部科学省「次世代アントレプレナー育成事業（EDGE-NEXT）」の採択を受け、2021年度からは、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）「研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム（START）大学・エコシステム推進型 スタートアップ・エコシステム形成支援」の採択を受け、これまでの学生の教育（Tongali-e）だけでなく、**研究者の起業支援（Tongali-x）**、起業環境整備、エコシステム拠点都市の運営まで活動内容を拡大しました。



1. Tongaliについて

- 2020年7月 愛知・名古屋・浜松地域が
スタートアップ・エコシステム「グローバル拠点都市」に選定され、
産学官金一体のスタートアップ・エコシステムを形成

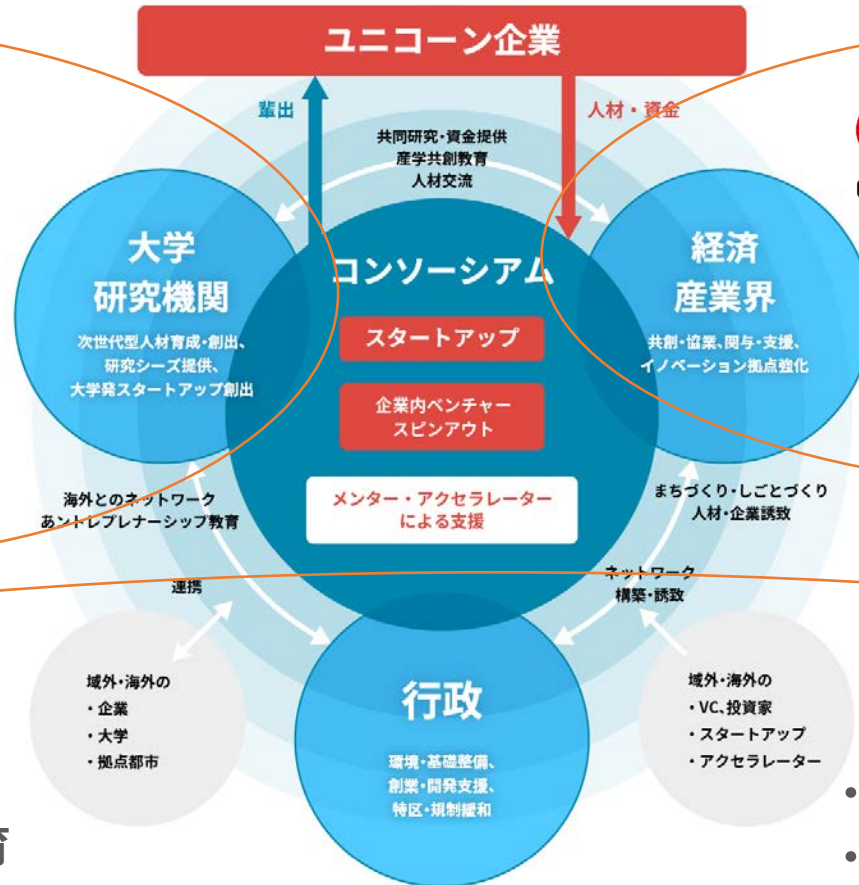
GOAL : ものづくり産業集積地としての基盤を活かした
「ディープテックイノベーション」のグローバル拠点形成



- ・アントレプレナーシップ教育
- ・ディープテック・スタートアップ



- ・なごや版客員起業家
- ・初等教育でのアントレ教育



- ・マインド形成
- ・融合成長
- ・共創、実践



- ・多彩なアクセラレーションプログラム
- ・STATION Aiの開設



Central Japan Startup Ecosystem Consortium

ビジョン：ものづくり産業集積地としての基盤を活かした「ディープテックイノベーション」のグローバル拠点形成

卓越した次世代型教育を受けた人材の輩出

大学群を中心とした起業家教育（研究者含）
デジタル教育（AI人材含）の拡充等

海外ネットワークの拡大・深化と求心力の強化

製造業の集積等を活かした拠点をハブとする海外ネットワーク形成等

ディープテックを活かした共創・オープン化による社会実装・社会課題解決

ものづくり企業等の積極的な参画・関与
拠点をハブとした域内・域外人材の対流・交流の活発化

ベンチャーファイナンスの仕組みを構築

国内VCや海外投資家とのネットワークの形成



Vision

アイデアとテクノロジーが交わる学校



mission

未来に繋がる価値を創り、届けることができるトンガった人材を育成する。そして、技術を発掘、支援することにより、東海から世界に向けて、地球・社会や人類の生活を（モノ、心を）豊かにする。

マテリアリティ

- ビジネスシーズ・モデルディクショナリーの保持
- トライ&エラーのマインドセットの保持
- 広くて濃いネットワーク/コミュニティの構築

GAPファンドプログラムに参画可能な機関は**東海4県の15機関**

Tongali GAPファンドPG参画機関	
名古屋大学 (主幹機関)	静岡大学
豊橋技術科学大学	浜松医科大学
名古屋工業大学	豊田工業大学
岐阜大学	静岡理工科大学
三重大学	静岡県立大学
名城大学	岐阜薬科大学
藤田医科大学	自然科学研究機構
名古屋市立大学	Total : 15機関

■ 目標

- (1) **社会・経済にインパクト**を生み、**国際展開を含め事業成長するポテンシャル**を有する**大学等発スタートアップ**の創出を**質・量ともに充実**
- (2) 大学等発スタートアップの継続的な創出を支える、**人材・知・資金が循環するエコシステム**の仕組みを全国に形成

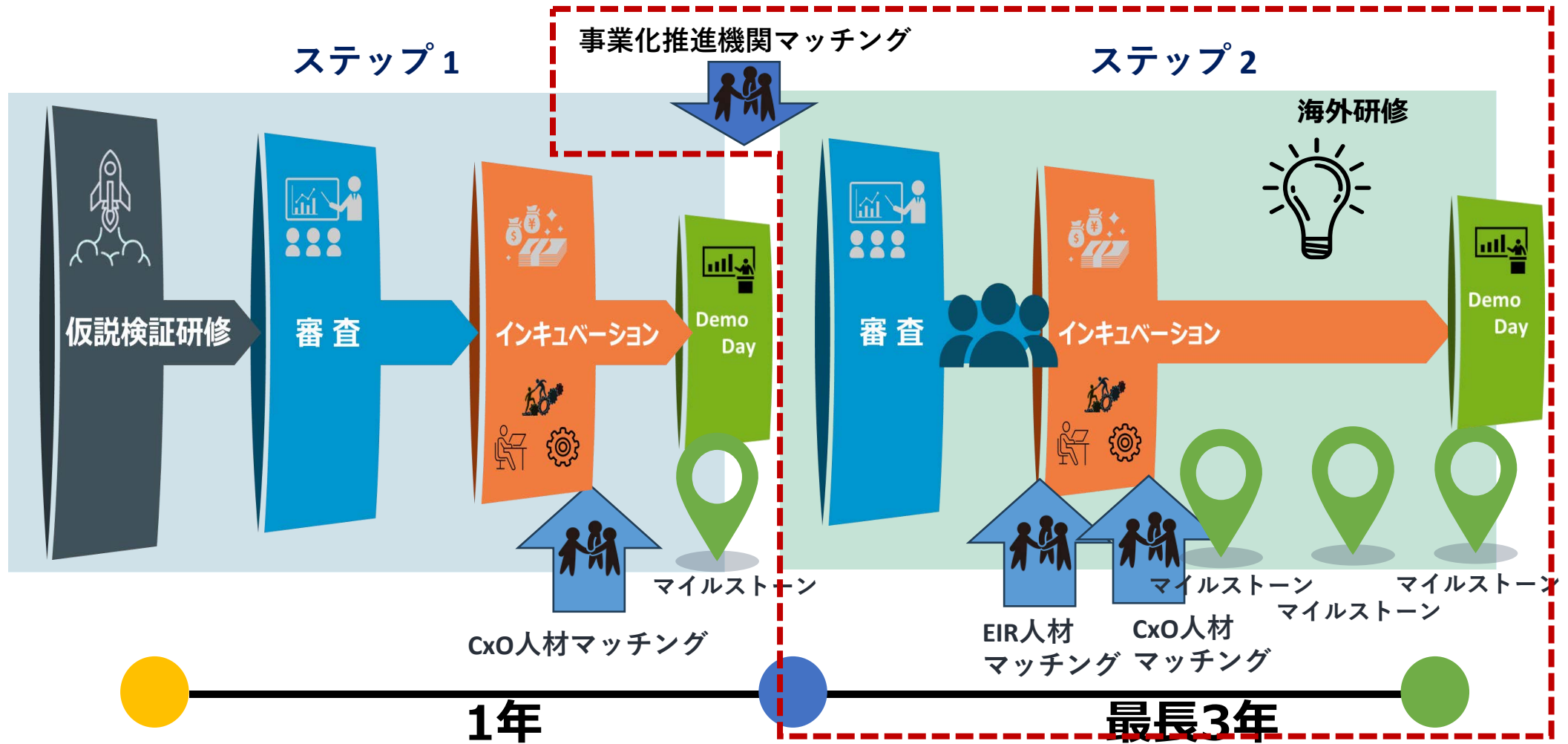
■ 目指すインパクト

- ・革新的な製品・サービスによる**社会課題の解決**及び**豊かな国際社会の実現**
- ・事業成長による我が国の**雇用創出**及び**経済成長の実現**
- ・成功事例を積み重ね、より多くの人材が**大学等発スタートアップ**の創出・育成を志す
- ・大学等において**ステークホルダーと連携**を図り**学内のルールや体制を整備**

3. GAPファンドプログラムの概要

同PGは「ステップ1」「ステップ2」で構成されており、今回は「ステップ2」（赤枠部分）の募集（※ステップ2からの申込も可能であるが、ステップ1の目標が達成できている事を前提とする）

「基礎研究の成果について、ビジネスとしての可能性を評価できる段階まで引き上げることを目指す。」



3. GAPファンドプログラムの概要




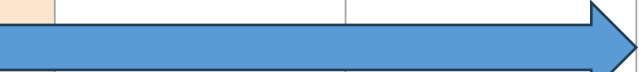
	ステップ 1	ステップ 2
通常枠の採択金額 (特別枠)	500万円 (1,000万円)	最大6,000万円 (最大1億円)
目的・対象	革新的な技術シーズについて ・顧客を作るためのトラクション作り ・課題とSolutionのFitを検討し、ビジネスとしての可能性を評価する。	本格的にSU組成を目指す。 ・ビジネスとしての可能性評価 ・PoCを固めていくステージとして、Product/Market Fit (PMF) の設計を目指す。
技術分野	医療（創薬）系：医療分野、創薬分野、介護・福祉分野 モノづくり-Deep tech 系：上記以外全ての分野	
実施期間	1年	最長3年（1年毎に継続可否の審査有）
採択件数（合計）	年間 35～50件程度 総数 210 件（申請数の50%程度）	年間 6件程度（今年度は4件程度） 総数 21件（申請数の50%程度）
応募資格等	研究代表者は、15機関に所属する教職員、学生（博士、修士課程相当の学生に限る） 仮説検証プログラム等の事前研修の受講	Tongaliが認定した「事業化推進機関（VC等）」の参画が必要
インキュベーションプログラム	・起業化に向けたセミナー（5回程度） ・メンターによるメンタリング ・中間壁打ち 等	・事業化推進機関を中心としたメンタリング ・海外研修プログラム ・経営人材マッチング 等

3. GAPファンドプログラムの概要

- 申請期間：最長3年（申請は1年毎とするため、1年、2年、3年での申請が可能）
 - 申請金額：最大6,000万円（医療系（創薬）は1億円）
 - 1年間の最大申請金額：3,000万円（医療系（創薬）は5,000万円）
- ※ 1 真にやむを得ない場合、実情に応じ、1年間で最大6,000万円（同1億円）の申請を可とする。
その場合、審査会への申請書提出時に、規定内3,000万円（同5,000万円）の予算案と、希望申請額の予算案の双方を作成し、やむを得ない理由を説明する事を条件とし、**審査会で可否を判断**する（詳細は事務局までお問い合わせください）。
- ※ 2 0円申請の期間設定は不可とする（以下の（例）の様な設定は不可）
（例）期間3年、金額6,000万円（1年目：3,000万円、2年目：3,000万円、3年目：0円）
- ※ 3 上記**採択金額は直接経費**であり、別途同経費に対する30%の間接経費も配分されます。
間接経費の取扱いについては、研究者の所属大学にお問合せ下さい。

本「ステップ2」に一度採択されると、再度の申請は不可となるため、申請期間の選択は慎重に実施してください。

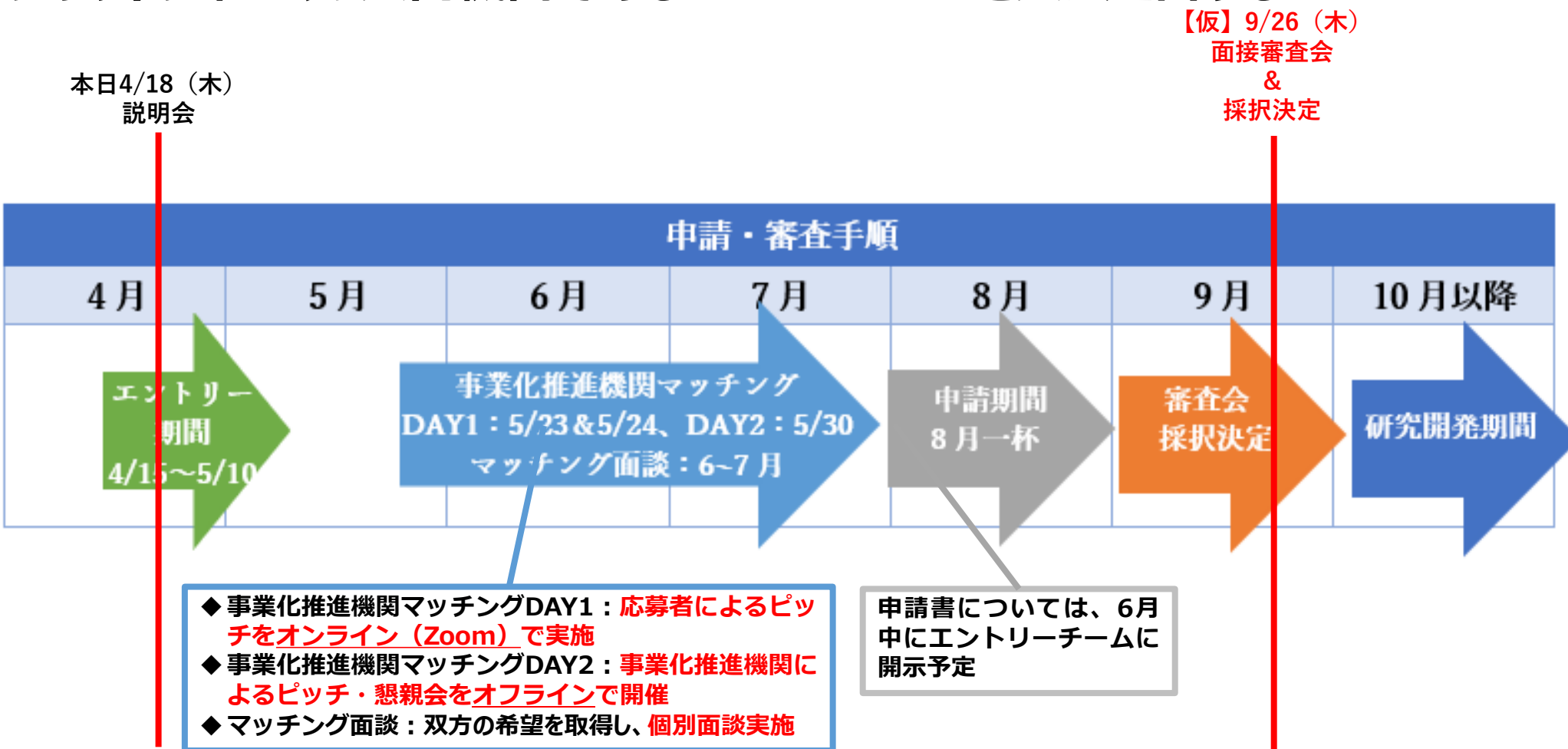
ステップ2はR6年度からR9年度まで**合計4回募集**予定
 ステップ2の年度別採択予定数は以下の通り

	FY23 令和5年度	FY24 令和6年度	FY25 令和7年度	FY26 令和8年度	FY27 令和9年度	FY28 令和10年度	FY29 令和11年度
FY24始動 PG①		4 (新規)					
FY25始動 PG②			6 (新規)				
FY26始動 PG③				6 (新規)			
FY27始動 PG④					6 (新規)		

4. 今後のスケジュールについて

本日～採択決定迄のスケジュールは以下の通り

Tongaliプラットフォームの共同機関である**STATION Ai**と共に運営する



4. 今後のスケジュールについて

1. エントリー

下記エントリー用紙をHPより入手し期限（5/10正午）迄に提出
エントリーをしないと「正式申請」（8月予定）出来ませんので必ずエントリーしてください！

宛先: 大学新産業創出基金事業 スタートアップ・エコシステム
共創プログラム担当(tone@i-@bap.nsgoya-u.ac.jp)
締切の切り: 5/10(金)正午

※秘密情報は含めないよう、公開可能な範囲で記入すること。
※提出にあたっては、各大学の問い合わせ先(募集要項に記載)へ必ず連絡し、その指示に従うこと。
※本エントリーフォームはプログラム参加の為のものであり、審査に影響を及ぼすものではありません。

大学新産業創出基金事業 スタートアップ・エコシステム共創プログラム
令和6年度 GAP ファンドプログラム「ステップ2」エントリーフォーム

年 月 日 提出

1. テーマ

(記入例) ○○○技術の事業化検証

2. 希望の申請内容

以下の各項目について、技術分野、申請期間については何れかにチェックを入れて頂き、申請金額については、金額を記載してください(今回は仮で結構ですが、審査会への申請時に最終的に選択して頂きます)。

技術分野
 モノづくり・Deep Tech 他 医療系(創薬以外) 医療系(創薬)

申請期間
 1年 2年 3年

申請金額(最大6,000万円(医療系(創薬)は最大1億円)
()

3. 研究代表者等の連絡先情報

< 研究代表者 >
氏名: フリガナ:
所属機関:
部署: 役職:
電話番号: E-mail:

< 伴走者/事業化プロデューサー >
(※既に伴走者・事業化プロデューサーが存在する場合のみご記入ください。必須ではありません。)
氏名: フリガナ:
所属機関:
部署: 役職:
電話番号: E-mail:

< 事業化推進機関(ベンチャー・キャピタル等)に所属する方の有無 >
(本エントリー時には必須ではありません。)
 有り 無し ※有りの場合は下記詳細を記載願います。

氏名: フリガナ:
所属機関:
部署: 役職:
電話番号: E-mail:

4. 技術分野

ロライフサイエンス ロアグリカルチャー 環境・エネルギー ロナノテクノロジー・材料
 情報通信・データ その他() ※該当分野にチェック

5. 事業化推進機関マッチングイベントへの参加について

本 GAP ファンドプログラム「ステップ2」へエントリー頂いた研究者におかれましては、事業化推進機関とのマッチングイベントへの参加を必須とします。
※既に特定の事業化推進機関(VC等)からの伴走が想定される研究者チームにおいても参加必須です。
※スケジュールを確認のうえ、DAY1については、参加可能な日程にチェック願います。両日程可能な場合は、両日程にチェックをお願いします。最終的にどちらかの日程での登壇時間をご案内します。DAY2については参加必須としますので日程を確認の上、チェックをお願いします。(どうしても参加できない場合、事務局へご連絡下さい)。

事業化推進機関マッチング DAY1: 応募者によるピッチをオンライン(ZOOM)で実施
また、記載の時間帯の中で発表頂く時刻については、別途、調整させていただきます。
 5月23日(木) 午後4:00~午後6:00
 5月24日(金) 午後1:00~午後3:00

事業化推進機関マッチング DAY2: 事業化推進機関によるピッチ・総論会をオフラインで開催
 参加可能
5月30日(木) 午後3:00~午後8:00
会場: PRE-STATION Ai Connect Room (WeWork 名古屋内)
(愛知県名古屋市中村区平池町 4-60-12 グローバルゲート 11F)

6. 産学連携の担当窓口

氏名: フリガナ:
所属機関:
部署: 役職:
電話番号: E-mail:

以上

4. 今後のスケジュールについて

2. チームアップ

※研究者チームに、Tongaliが認定した事業化推進機関が入っていることが必須です
正式申請が始まる7月下旬までに事業化推進機関を探してください。



研究代表者
(修士課程・博士課程の学生でも可能)



経営者候補



事業化推進機関



産連伴走者
(各大学の産連部門等でアサインさせていただきます)



知財担当者
(各大学の産連部門等でアサインさせていただきます)

経営者候補人材が不在の場合でも、ご参加いただけます
研究代表者・事業化推進機関共同で申請書・プレゼン資料を作成します

3. 事業化推進機関とのマッチング

エントリー後、下記Day1～Day3のマッチングイベントに参加（プログラムの一環であり、すでに事業化推進機関が決まっている場合も参加は必須です）

マッチングイベント

【Day1】

オンラインにて応募者によるピッチを実施
⇒ 事業化プランの概要、技術シーズの説明
（5月23日or5月24日）

※15程度の認定事業化推進機関が参加予定

【Day2】

オフラインにて事業化推進機関によるピッチ + 懇親会を開催し、双方が交流できる場を提供 **（5月30日）**



マッチング実施

【Day3】

・双方の希望を取得し、個別面談実施 **（6～7月）**



事業化推進機関の役割

- FY24 7月までに研究者チームにジョインし、**申請書を共同で作成**する
- FY24 9月～FY27 8月まで、最長3年間、伴走支援をする
- 研究者チーム向け CxO人材候補(CTO以外)など、技術シーズの事業化を推進するための**人材の紹介、マッチング機会の提供**
- **KPIの設定およびマイルストーン全体の進捗支援**（マイルストーン評価は1年毎にあり）
- **組織開発支援**
 - 研究者チームに組織開発のアドバイスを提供し、組織文化の構築やチームの強化のノウハウを提供
- **リーダーシップスキルの向上支援**
 - 研究者チームにおけるリーダーシップスキルを向上させるため、個別のトレーニングやコーチングを提供

Tongaliが認定していない事業化推進機関と共同申請する場合、Tongaliの認定を受ける必要がありますので、事務局に連絡ください。

事業化推進機関の認定基準

No.	基準カテゴリ	主な基準
1	投資機能および事業化支援機能	投資機能および事業化支援機能を有する法人であること。またプラットフォームと連携しながら事業開発できる能力及び熱意を有しており、良好な関係を構築できること。
2	国内拠点とスタッフ	日本国内において、スタートアップ等の事業化等を支援する拠点を有し、常駐スタッフを配置していること又はそれらの計画があること
3	経験と実績	常駐スタッフが起業前段階を含むスタートアップの事業育成や大学発スタートアップに対する出資実績等を有しており、国際的な市場ニーズの把握や事業展開に強みを有していること
4	専門的知識の有無	研究者チームが法人設立後に出資を呼び込むためのネットワークや豊富な専門知識を有していること
5	研究者チーム向け伴走支援の提供	技術シーズの事業化判断および推進を目的として、事業化に不可欠な人材の選定・推薦・確保やプラットフォーム内外との連携が可能なこと
6	エコシステム形成への貢献	Tongali-PFが主導する、スタートアップエコシステム形成の発展に協力・貢献すること
7	透明性と誠実性	適切な情報開示と透明性を保ち、誠実かつ公正な取引態勢を維持する姿勢を持っていること
8	反社会的勢力との関係	暴力団員等または暴力団員等と密接な関係を有する者ならびにこれらの者が役員となっている法人に該当しないこと
9	その他	上記2~5の認定基準を満たしていない場合であっても、Tongali-PFが許可した場合は参画可能

4. 今後のスケジュールについて

4. 正式申請、審査会準備

申請書は6月中にエントリーチーム
にご案内します

◆ Problem / 課題

◆ Solution / 解決策

◆ Technology / 技術シーズ

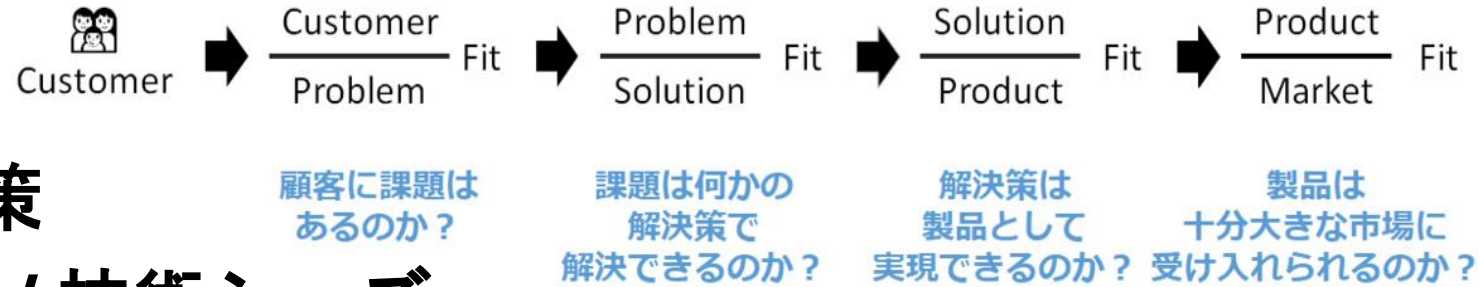
◆ Market / 市場

◆ Business / ビジネス

◆ Team / チーム

◆ Tongali / とんがり

◆ Budget / 経費執行計画



GAPファンド審査会：2024年9月26日を予定

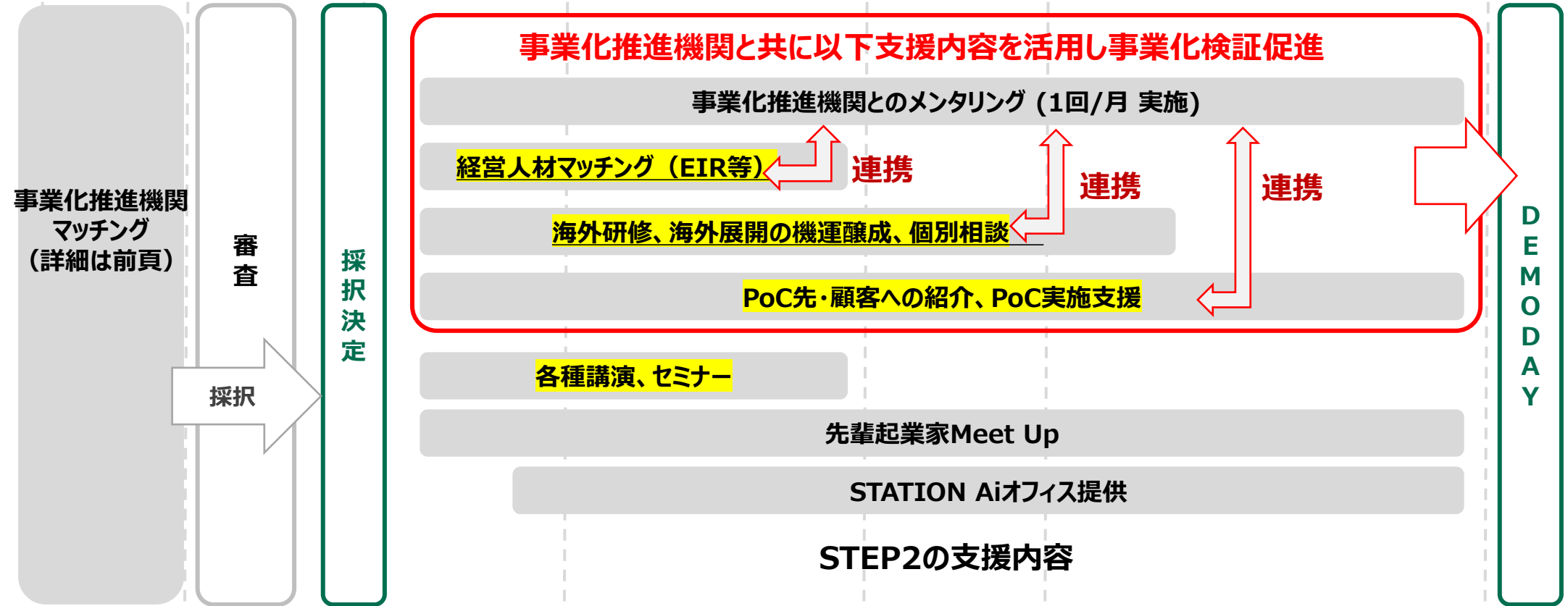
4. 今後のスケジュールについて

5. 採択後支援

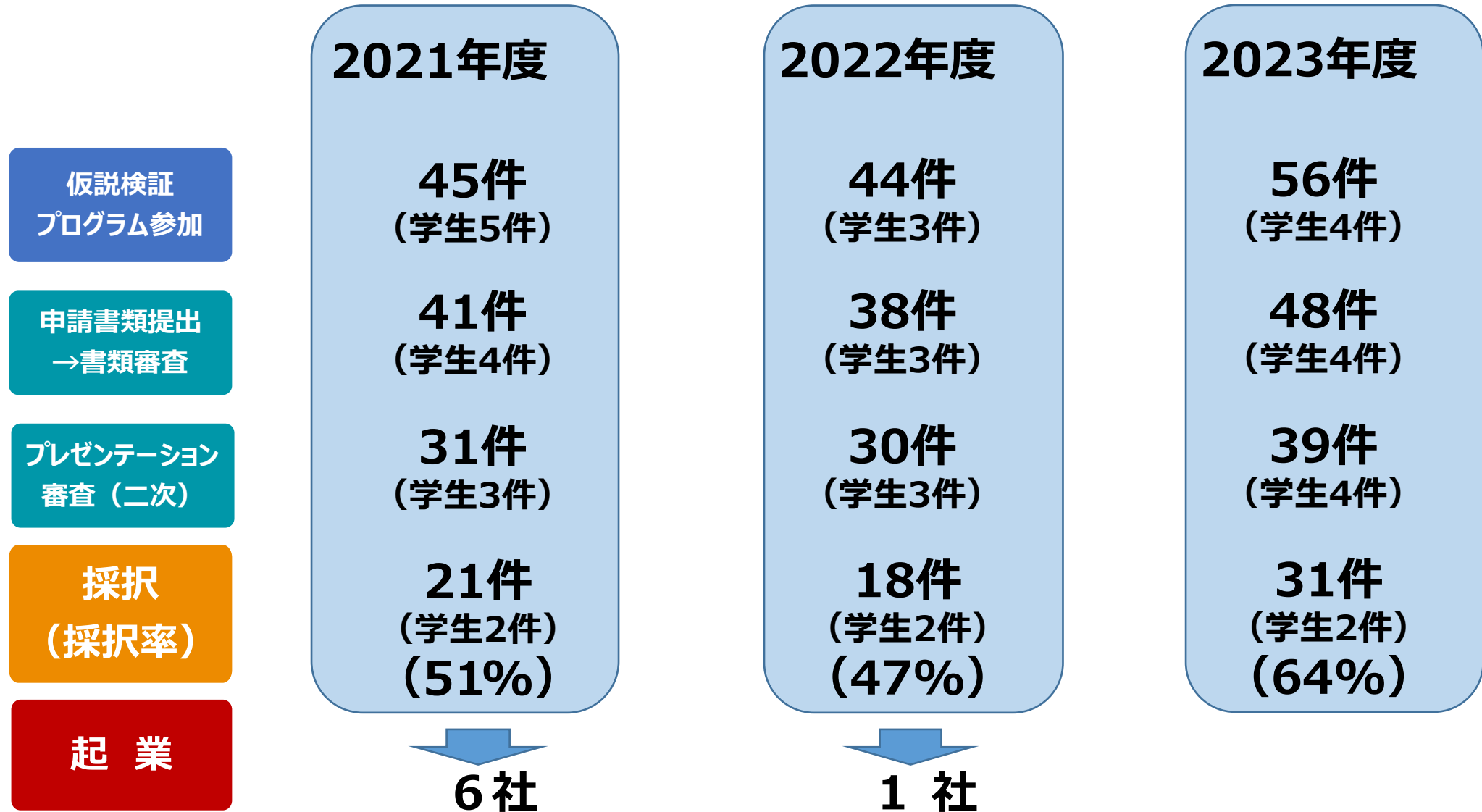
DEMODOYまでの期間、研究者チームと事業化推進機関は一丸となり、下記支援を活用しながら事業化検証を進めていく

※期間3年を選択した場合

2024年 (R6) 4月~6月 2024年 (R6) 8月 2024年 (R6) 9月 2025年 (R7) 3月 2025年(R7) 8月 マイルストーン評価 2026年(R8) 8月 マイルストーン評価 2027年(R8) 8月



(ご参考) GAPファンドプログラムの実施実績



第1回説明会（4/18）の質疑

Q1. 期間中の起業について

- 採択後、予算執行即起業ではなく、少なくとも半年程度はプログラムのスキームに則った活動を実施願います。起業した場合、本GAPファンドとしては打ち切りとなりますが、JSTにて起業後の支援メニューが別途検討されています

Q2. 事業化推進機関は自分で探すのか、事務局の支援があるか？

- 両方のケースがあります
ご自身で事業化推進機関候補を選定した場合、当該機関が一定の条件を満たし、Tongali-PFの認定を受ける必要があります
事務局側で準備する、研究者と事業化推進機関とのマッチングイベント（参加必須、P16）も活用願います

Q2-2. 事業化推進機関候補の認定にかかる時間は？

- 申請を頂いた都度、速やかにプラットフォーム内で認定作業を行います。1週間程度を想定しています。

Q3. STEP2の支援開始はいつごろからか？

- JSTとの契約の調整も含め、11月頃からの開始を想定しています

Q4. マイルストーン審査の結果は？

- 委員会形式などで審査し、NGの場合、速やかに知らせるようにいたします